

提供年月日：令和6年（2024年）6月13日  
所属名：滋賀県立美術館  
担当者名：小松（広報担当）  
連絡先：077-543-2113  
E-mail：museum@pref.shiga.lg.jp

## 県立美術館で開催中の「つくる冒険展」の関連イベント さわる、みる、言葉をかわす、網膜投影機をつかう いろいろな方法でアートを楽しもう！

### 1 概要

開催中の展覧会「つくる冒険 日本のアール・ブリュット 45人 ーたとえば、「も」を何百回と書く。」の出展者の作品を、見えない・見えづらいなど視覚障害のある人と見える人が一緒に楽しむ鑑賞会です。それぞれの感想を言葉にしたり、関連資料にさわったり、弱視の方に向けた「網膜投影機」という補助器具を用いたりするなど、さまざまな方法で作品を鑑賞します。

主催：滋賀県立美術館、京都新聞、一般財団法人 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS  
協力：株式会社 QD レーザ

### 2 日時

2024年6月16日（日） 第1部：10:30～11:30／第2部：13:30～14:30

※各回定員10名

※各回実施後、ご希望に応じて、担当学芸員による見えない人向けの展示解説を行います。

（自由参加、約60分程度）

### 3 場所

滋賀県立美術館 ワークショップルーム、展示室3

### 4 参加費

無料（ただし、展示解説をご希望の方は要観覧料）

## 5 内容

- (1) 網膜投影機※の体験
- (2) さわることのできる関連資料（作品の触図※、レプリカ）の触察
- (3) 見えない人、見えづらい人、見える人、3者が集まって、(1)と(2)を用いながら、作品について対話しながら鑑賞
- (4) ご希望に応じて、担当学芸員による見えない人向けの展示解説

### ◆想定タイムテーブル

時間帯 (上段：第一部、 下段：第二部)	場所	内容
10:30～10:40 13:30～13:40	ワークショップ ルーム	趣旨説明
10:40～11:00 13:40～14:00	ワークショップ ルーム	戸來貴規の作品の触図および画像を用いた対話鑑賞 (適宜、網膜投影機を使用)
11:00～11:20 14:00～14:20	ワークショップ ルーム	澤田真一の作品のレプリカを用いた対話鑑賞(適宜、 網膜投影機を使用)
11:20～11:30 14:20～14:30	ワークショップ ルーム	ふりかえり
11:30～12:30 14:30～15:30	展示室3	ご希望に応じて、担当学芸員による見えない人向けの 展示解説

※株式会社 QD レーザにご協力いただき、網膜投影機器 RETISSA ON HAND を使用します。視力に影響されず網膜投影を手軽に利用できる手持ち型の視覚支援デバイスです。

※触図とは、視覚障害のある人に描かれているものを伝えるために、輪郭線や面を凸状に浮きあがらせたり、素材をかえて手ざわりを変化させたりして、描かれているイメージを触覚で伝えるツールです。